

英文外国為替市場記事のスタイルと語法

村上直久*

Analysis of styles and usage in English-language currency market articles

Naohisa MURAKAMI*

Key words : dollar/yen rate, dollar/euro rate, range, market-moving factors

1. はじめに

外国為替市場 (foreign currency market or foreign exchange market) での日本円、米ドル、ユーロをはじめとするさまざまな通貨の動きは銀行や企業だけでなく一般市民にも日常的に関係している。海外への家族の送金や海外旅行の時など、円/ドルや円/ユーロの動きに一喜一憂した人は多いだろう。外国為替市場の動きについては、テレビ・ラジオのニュースでは急激な変動がない限り、詳しく報道されることはなく、その日のレートとその背景に簡単に触れられるだけだが、新聞、特に英字新聞では毎日そのためのスペースがちゃんと確保しており、かなり長めの記事に仕立て上げられるケースが多い。

外国為替市場は各国通貨間の動きの背後にある、各国経済などマクロ経済の動向だけでなく、それに影響を与える政界の動き、国際情勢の推移なども反映している。それはもちろん直接的には各国通貨レートの変動と言う形で表れる。

本論文では、*the Japan Times (JT)* *the International Herald Tribune (IHT)* *the Wall Street Journal (WSJ)* *the Financial Times (FT)* という日米英の英字紙四紙を取り上げ、これら4紙が2003年3月の1カ月間、外国為替市場記事欄でどのように報じたかを記事のスタイルと語法に絞って調査、分析し、共通点と特異性を探ったものである。通貨間のレートでは特に日本円と米ドルのレートに注目した。3月を選んだのは、この月は日本では年度末の月に当たり、通常円の対ドル・レートは大きく動くという経験則と、米英軍のイラク攻撃に向けての緊張が高まり、実際に3月20日に戦争が始まり、開始後も戦争の見通しの変化に

原稿受付：平成15年7月4日

*長岡技術科学大学語学センター

応じてドルの他通貨に対するレートは激しく上下した点を考慮したからである。本論文では開戦前後の数日間の外国為替市場の動きに焦点を合わせる。語法については、レートの上げ下げなどを各紙はそれぞれどのように表現しているか比較検討する。また、外国為替市況記事に特有なテクニカル・タームもいくつか取り上げるが、この点についてだけはいくつかの先行研究や解説本が見受けられる。¹⁾

ここで外国為替市場といっても株式市場のように証券取引所という物理的な空間が存在するのではなく、パソコンや通信回線を介したテレホン・マーケットだという点に留意しておく必要があるだろう。

2．外国為替市況記事のスタイル

2.1 外国為替市況記事の一般的なスタイルと構造

外国為替市況記事のスタイルは4紙ともそれぞれ特徴があるが、リード（第一パラグラフ）でレートが上げたか、下げたかを含む市場全体の動き、その後、なるべく早く具体的なレートを示してから、市場関係者のコメントや市場に影響を与えた要因の説明などが続くのはほぼ共通だ。

2003年3月の最初の取引日となった3月3日の動きを4紙が東京あるいはロンドンの市場の動きをどのように報じたか検証してみよう。

2.1.1. JT

JT は外国為替市況欄を曜日によっては少し異なる²⁾が3分割している。時事通信の配信記事を使った東京外国為替市場の動き、Reuters や AP など外国の通信社電を使ったロンドン市場とニューヨーク市場の動きについての記事が続けて並べてある。3月3日は月曜日なので JT の締め切り時間にはニューヨーク市場はまだ終わっておらず、3月4日付の JT には東京、ロンドン市場の記事しか載っていない。

見出しは Dollar trapped above ¥118³⁾ とこの日の東京市場は小動きだったことを示している。

The dollar showed little movement above ¥118 Monday in Tokyo, with Japanese investors finding it difficult to adopt positions amid continuing uncertainty over the Iraq situation.

Market players are unable to predict what will happen after Hans Blix, chief U.N.

weapons inspector, submits a report to the U.N. Security Council on Friday, remarked a Japanese bank official.

At 5 p.m. , the greenback was quoted at ¥118.06 - 09, up from ¥117.73 - 76 late Friday. It traded most actively at ¥118.22, compared with Friday's ¥117.75 .

Market caution was also fueled by the prospect of policy-setting meetings at the European Central Bank and the Bank of Japan this week, the official said.

As a result, the trading range was limited. The dollar, for instance, was trapped in a range between ¥118.00 and ¥118.30 .

The euro was quoted at \$1.0792 - 0795 at 5 p.m., compared with \$1.9745 - 9748 late Friday. (*Jiji Press*)

リードはイラク情勢の先行きが不透明な中で投資家が動きづらいことから ¥118を少し上回った水準でほとんど動かなかったことを指摘した。これでこの日の動きが大まかにつかめるといえる。第2パラグラフはイラク情勢が不透明なことにに関して、国連監視検証査察委員会（UNMOVIC）のブリクス委員長が国連安全保障理事会にそれまでのイラク査察の結果についての報告書を提出した後、各国がどう反応するのか市場参加者が予測しがたいと言うことを日本の銀行の関係者の発言として伝えている。これで背景がはっきりした。第3パラグラフはドルの日本時間午後5時時点のレートと前週末（この場合は金曜日）との比較、そして中心レートが示されている。

第4パラグラフは欧州中央銀行（ECB）の理事会や日本銀行の政策決定委員会などが予定されているという外国為替市場の動きに影響を与えそうな他の要因について言及した。第5パラグラフはドルの対円でのこの日のレンジ⁴⁾を第6パラグラフは欧州単一通貨ユーロの午後5時時点での対ドル・レートを示している。

全体で5つのパラグラフしかない短い記事だが、読者が知りたい情報は過不足なく盛り込まれており、必要にして十分と思われる。⁵⁾

2 .1 .2 IHT

次に3月4日付の *IHT* をみてみよう。*IHT* は *Bloomberg* 通信のロンドン発の記事を使用している。この記事も全部でパラグラフは4つで比較的短い。見出しは *Dollar rises amid hope war can be delayed* と *JT* とは視点が異なる。

The dollar was slightly stronger Monday amid optimism that a U.S.-led war with Iraq

might be delayed or averted, encouraging foreign investment in American assets.

Iraq destroyed some banned missiles and Turkey voted against allowing U.S. troops to use its bases. Signs that war could be delayed tend to help the dollar because a conflict is seen as likely to crimp U.S. confidence and growth, discouraging global investors from buying the country's assets, analysts said.

The euro fell to \$1.0788 from \$1.0800 late Friday, and the dollar rose to 1.3550 Swiss francs from 1.3529 francs. The pound rose slightly to \$1.5741 from \$1.5739. The dollar also was traded at ¥117.975, down from ¥118.105.

“When you get rising tensions, foreign investors tend to hold off buying U.S. assets,” so when those tensions recede, it helps the dollar, said Tony Dolphin of Henderson Global Investors. Dolphin favors the euro over the dollar because he expects the United States to have difficulty attracting enough capital to offset its current account deficits.

東京とロンドンの時差は大まかに言って4月から9月にかけて8時間で夏時間と呼ばれ、残りは9時間で冬時間となっている。すなわち東京の午後5時は夏時間であればロンドンの午前9時で同地のオフィスアワーが始まる時間だ。そのため東京市場の午前9時から午後5時までの時間帯とロンドン市場の午前9時以降の時間帯のトーンが変わってくるのはきわめて自然な現象だといえよう。時間の経過とともに新たな材料が出てくるからだ。

JTではイラク情勢の不透明感からドルは小動きだったが、ロンドン市場の時間帯に入ると、IHTのリードに書かれているようにイラク戦争の開始が遅れるのではないかと楽観論が広まった。具体的には第2パラグラフでイラクが一部のミサイルを廃棄したことや、トルコ議会が米軍による同国の基地使用に反対したことが挙げられている。すなわち8時間も時差があればその間にさまざまな動きがみられるのだ。戦争は米国にとって経済成長の阻害要因になると考えられ、このため戦争開始の遅れはドルにとって好材料だとのアナリストの指摘に言及している。第3パラグラフで具体的にユーロはドルに対して下落し（これは逆に言えば、ドルはユーロに対して上げたことになる）、また、ドルはスイスフランに対して上伸したとしている。ただ、ドルは円に対しては¥117.975と前週末の¥118.105に比べてやや下げたとしている。東京市場の午後5時時点と比較しても少し下げている。第4パラグラフでは、緊張が高まれば、（ドルを含む）米国の資産の購入を投資家は手控える傾向があるとのヘンダ・ソン・グローバル・インベスタ・ズ社のトニー・ドルフィン氏の発言を引用している。イ

ラク戦争以前では、戦争などで国際情勢が緊張すれば世界最強国のドルが買われるという「有事のドル買い」という現象がよく起きたが、ユーロの登場とともに、ドルの{一人勝ち}の時代は終わったようだ。

ところで *IHT* の記事で目立つのは一つのパラグラフにセンテンスが2つも3つもある点だ。これは *JT* の記事では見られない現象で、読者にとって読みづらい印象を与えているのは否めない。⁵⁾

2.1.3 *FT*

次に *FT* の3月4日付のドルを中心とした外国為替市場の記事を見てみよう。特徴的なのはユーロを中心に書いていることと、ロンドンからは5時間後のニューヨークの取引時間帯の動きに触れている点だ。見出しは Euro wins the “ugly contest” となっている。

The euro yesterday rose to its highest level in a week against the dollar and the yen as downside pressure on the latter two left the euro on top of the pile.

The yen started the day higher but suspicions that the Bank of Japan was defending the dollar at around ¥117.9 - after data last Friday revealed a second month of covert intervention - capped the upside for the Japanese currency.

In early U.S. trading, weak U.S. data virtually reversed an early rally for U.S. stocks and capped any strength in the dollar. The Institute of Supply Management's monthly activity index fell to an unexpectedly weak 50.5 in February, barely registering any growth in the sector from 53.9 the month before.

With pressure on both the dollar and the yen, the euro made progress, reaching \$1.084 against the dollar and ¥117.7 against the yen by midsession in New York.

“It is not that anyone loves the euro, it is just they dislike the others more,” said Nick Parsons, head of FX strategy at Commerzbank. “This has been described as the ‘ugly contest’ in that investors are debating which they hate the least.”

FT の記事のトーンは *JT*, *IHT* のそれと比べて随分違う。もちろんロンドンの取引時間帯（ビジネス・アワーと言ってもよい）とニューヨーク時間の午前における動きを視野に入れているからだ。加えて、執筆した記者の関心はユーロに向けられていると言う事情もある。

第2パラグラフでは、円は前週末比を上回る水準でロンドン市場での取引が

始まったが（これは東京市場の午後5時時点で¥118を上回っていたことを受けたものだ）その後、日本銀行が急激な円高を避けるために円売り・ドル買いの市場介入を行っているのではないかとの疑惑が出たことで日本円の上伸は抑えられたようだとしている。

その後第3パラグラフでは米国の取引時間帯に入ってから米経済の軟調を示す経済統計が発表されたことを受けて、今度はドルの上伸の勢いが弱まったと指摘している。

第5パラグラフではこのようにドルと日本円の双方に対してプレシャー（圧迫）が加えられたことから相対的にユーロが上伸したと指摘している。第6パラグラフではこうした現象をドイツのコメルツバンクの外為戦略のチーフを務めるニック・パーソンズ氏の言葉を借りて、「投資家がどの通貨に対する憎しみが最も少ないかを論議している『醜い争い』だ」と意義付けている。

なお *FT* の記事も *IHT* と同様に1つのパラグラフに2つのセンテンスを詰め込んでいる箇所が散見される。⁶⁾

2.1.4 WSJ

次に *WSJ* の3月4日付の外国為替市場記事をみても。同じ企業グループに属する通信社 *Dow Jones News Service* の記事を使用しており、見出しは *Dollar Dives Amid Soft Data, Questions About Weak-Yen Policy* となっている。*WSJ* の記事にはもちろん、ニューヨーク市場での取引時間帯（ビジネスアワー）での動きがフルにカバーされている。東京から始まって、ロンドン、ニューヨークとドルの取引がちょうど地球を一周した形となる。*WSJ* の記事は長いのでおよそ半分に割愛する。

A combination of worse-than-expected U.S. data and a test of the Bank of Japan to resolve to keep its currency weak sent the dollar into new territory against its rivals.

During afternoon trading in New York, the dollar nosedived against the yen as a breach of technical support levels ignited heavy selling, despite speculation the Bank of Japan would defend the dollar against further weakening. The U.S. currency quickly rebounded from its lows for the global session but failed to move back above 117.80 yen.

Meanwhile, lackluster growth in the U.S. manufacturing sector weighed heavily on the dollar, forcing it out of what had been an ironbound range against the euro and pushing it

to four-year lows against the Swiss franc.

Late Monday, the dollar was at 117.61 yen, up from its 117.19 yen intraday low, but down from 118.12 yen late Friday in New York. The euro was at \$1.0895, up from \$1.08 late Friday in New York and above \$1.0850 that had been the top range for weeks. Against the Swiss franc, the dollar was at 1.3376 francs, down from 1.3526 late Friday New York. Sterling was at \$1.5786, compared with \$1.5738.

Softer U.S. equities also contributed to the dollar's losses. The Dow Jones Industrial average ended regular trading at 7837.86, down 53.22.

After declining gradually throughout the global session to the 117.80 yen area, the dollar went into a tailspin when stop-loss orders were triggered amid heavy selling, according to currency strategists. The dollar dropped about 0.60 yen in seconds to 117.19 yen before rebounding above 117.50 yen, considered to be a crucial support area. Traders had believed earlier that the Bank of Japan stood ready to bolster the dollar against the yen if it fell below 117.80 yen.

WSJ はリードで、米国の経済統計が予想より悪かったことと、日本銀行の円高防止のために外国為替市場への介入の決意のほどを試そうとする動きが見られたことからドルは急落したと指摘した。第2パラグラフではニューヨーク市場の午後の段階で、ドルは日本銀行によるドル買い介入にもかかわらず急落したとしたうえで、その直後に反発したものの、この日（3月3日）の世界全体におけるドルの対円での安値である117.80円を上回ることにはなかったと述べた。

第3パラグラフでは米国の製造業の弱さを示す経済統計の発表で、ドルはユーロに対しても下落するとともに、スイスフランに対しては4年ぶりの安値を更新したとしている。第4パラグラフではドルは円に対し、ニューヨークでの午後の遅い段階で117.61円とその日の安値である117.10円を上回ったものの、前週末金曜日の118.12円を下回ったと報道した。ドルのユーロやスイスフラン、英国ポンドに対する具体的なレートも列挙した。

第5パラグラフでは米国の株価が軟調だったこともこの日のドルの下落につながったと指摘した。第6パラグラフではこの日のドルの日本円に対する動きをやや詳しく書いている。

2.2 イラク戦争勃発前後の外国為替市況記事の比較

米英軍のイラク攻撃は現地時間および日本時間の3月20日、米東部標準時間

の3月19日に始まったが、この前後、外国為替市場で米ドルの日本円に対するレートは激しく動いた。戦争開始後も戦況の推移にレートは大きく左右された。

2 .2 .1 JT

3月18、19両日（いずれも日本時間）の東京市場ではイラク戦争間近かとの観測から、ドルは対円で小動きだった。3月20日付の紙面に掲載された時事通信配信の記事におけるリードは次のようになっていた。

The dollar moved in a narrow range above ¥118.50 in Tokyo on Wednesday (March 19) as traders took to the sidelines ahead of an expected war in Iraq.

トレーダーは様子見に転じたわけだ。実際、日本時間の20日の午前が米国のイラクに対する最後通告期限だった。すなわちイラクのサダム・フセイン大統領が出国しない限り米国は攻撃を始めるというものだった。

戦争が始まったのは日本時間で3月20日の正午前だったが、その知らせが届くと同時に東京外国為替市場ではドルは一気に0.25円以上上げて¥120.30前後を付けた。その後、利食い売りが出て¥120を下回った。3月21日付 JT の時事通信配信記事のリードは次のようになっている。

The dollar settled in below ¥120 on profit-taking in afternoon trading Thursday, after oscillating wildly following the start of the U.S.-led war on Iraq in the morning.

翌日3月21日（日本時間）は日本は国民の祝日で東京外国為替市場は閉まっていた。そこで同日のニューヨーク市場をみると、投資家たちは戦争の先行きが不透明なため様子見姿勢に転じたため、ドルは小動きで、午後の遅い段階で対円では¥120.25だった。JT がキャリーした AP 電のリードは次のようになっている。

As war with Iraq gathered steam, the dollar was almost a frozen bystander Thursday⁷⁾, edging moderately lower toward the end of the day as investors remained unclear as to how the conflict was going in the early stages.

しかし翌日3月21日のニューヨーク市場では米国にとって戦況が有利と伝え

られたことからドルは急上昇した。*JT* が掲載した *AP* 電の第 1、第 2 パラグラフをピックアップしてみた。

The dollar surged across the board Friday, breaking three-month highs against the yen and two-month highs against the Swiss franc and the euro as traders seized on some signs of progress in the early stages of the U.S.-led war in Iraq.

Late Friday in New York, the dollar was trading at ¥121.40, not far below earlier global session highs.

しかし翌週（3月23日からの週）になると、また風向きが変わってくる。戦争が早期に終結するとの見込みが薄れてきたからだ。3月25日の東京市場の動きを伝える3月26日の *JT* の記事（時事通信）はリードで、次のように述べた。

The dollar slid below ¥120 in afternoon trading Tuesday in Tokyo as hopes receded that the U.S.-led war in Iraq would end quickly.

また同日付の *JT* がキャリーしたロンドン市場の動きについてのロイター電のリードは

The dollar on Tuesday hit its lowest level against major currencies since the war against Iraq began six days ago, as markets worried that fighting could take longer than they had initially expected.

とドルは開戦以来の安値を付けたと報じている。

以上述べてきたように、ドルの対円相場はイラク戦争が4月9日に実質的に終結するまで、戦況に大きく左右され、激しい動きを示した。

2.2.2 IHT

IHT もロンドン市場の様子を報道しており、*JT* と同様にイラク戦争の推移に伴うドルの動きを伝えている。3月18日付では Reuters と Bloomberg の記事と一緒に、Dollar declines amid growing war worries の見出しでドルの下落を報じている。

The dollar fell on Monday, eroding last week's gains, as investors' hopes of a peaceful solution to the crisis over Iraq dissipated.

この記事の第6パラグラフで「戦争の脅威は米国における消費者の景気信頼感を損ねていると指摘している。翌3月19日付では、戦争が始まっても短期に終わるとの観測からドルはロンドン市場でユーロに対しても、円に対しても上伸したことを報道した。この記事のリードは、

The dollar rose to its highest level against the euro in two months Tuesday on speculation that a U.S.-led war against Iraq will begin this week and be short.

ドルの対円レートが出るのはようやく第5パラグラフになってからで、

The dollar rose to ¥119.105 from ¥118.335.

とそっけない。

3月20日（ロンドン時間）にイラク戦争が実際に始まった後、戦争長期化の懸念からドルは下落した。3月21日付朝刊は再び、*Reuters* と *Bloomberg* の合成記事でリードは次のようだった。

The dollar fell against the euro and the Swiss franc Thursday as worries about a long conflict snuffed out early gains made on news that the United States had gone to war with Iraq.

円の動きについては第4パラグラフになってようやく

The dollar fell to ¥120.23 from ¥120.50 .

と簡単に触れただけだ。この記事によると、過去6カ月間でドルは戦争の懸念からユーロに対して7%下落したが、円に対する下落幅は1%にとどまったという。これは、「有事のドル」という神話が崩れ、「有事のユーロ」となって代わられたとも言えよう。翌3月21日には逆にドルは戦争早期終結の観測が広まって上伸した。3月22日付の *IHT* がキャリーした *Bloomberg* と *AP* の合成記事のリードは次のように伝えている。

The dollar rose Friday, heading for its first two-week gain against the euro since November, on speculation a war in Iraq would be over in weeks.

と伝え、具体的な対円のレートでは第3パラグラフになってようやく ¥120.325から ¥120.935に上伸したと指摘している。

2.2.3 FT

FTによるイラク戦争勃発前後の外国為替市場の報道ぶりは JT や IHT とはかなり異なっている。開戦2日前の3月18日の動きについては(3月19日付の記事) イラクが米国の最後通告を受け入れてサダム・フセイン大統領の出国に応じるかどうか投資家が息を潜めて見守る中で、外国為替市場は静かだったと形容した。前日の3月19日の市場に関しては(3月20日付の記事) イラク戦の是非をめぐる英国の国内政治事情にリードから言及した。両日とも英ポンドやユーロの対ドルでの動きに焦点が合わせられ、日本円についての言及はなかった

開戦当日の市況に関して、3月21日付の FT はリードで外国為替市場の反応は muted (弱い) ものだったと形容した。リードと第2パラグラフを示す。

On the day the U.S. finally went to war with Iraq, foreign exchange markets reacted somewhat mutedly.

Although uncertainty appeared to have been removed from the market, some participants were already looking ahead to what happens next.

この後、第4パラグラフでは、ブッシュ米大統領は戦争は予想よりも長引くとの可能性を指摘しているものの、イラク戦争は短期間で終わるとの予想が一般的だとしたうえで、一部のアナリストは戦争長期化も視野に入れ始めたとし、FT編集陣の迷いをうかがわせている。この日の記事でも円への言及はなかった。

翌3月21日の市況(3月22日付)ではリードで戦況進展の報道でドルが上伸したと説明している。

A second week of gains for the dollar ended yesterday with the currency pushing higher, aided by news of progress in the war against Iraq.

この日は珍しく円への言及があったが、それはイラク戦争絡みではなく、福

井俊彦日本銀行新総裁と塩川正十郎財務相が翌日（翌日）に会談する予定なので円の軟化が続いたというものだ。その背景を、

“ There is some speculation that the two will agree on more aggressive measures to boost money supply and perhaps even weaken the yen,” said Marc Chandler, currency strategist at HSBC.

と金融緩和および円安誘導への期待感を表明した業界関係者の発言を引用して説明している。

結局、*FT* はイラク戦争をめぐるニュースに外国為替市場が反応して激しく上下したとのトーンは採用しなかった。円については外国為替レート表の表があり、その中で円レートもみることが可能なのでとりわけ、記事の中で取り上げる必要はないと考えたものとみられる。

2 .2 .4 *WSJ*

WSJ は必ずしも毎日、外国為替市場に関する記事を掲載しない。ただ、レート表は必ず載せている。イラク戦勃発前後では開戦前日（3月19日、米東部標準時間）と翌日（同）の市場、特にニューヨーク市場についての動きが詳しく載っていた。*WSJ* が掲載しているのは、*The Dow Jones Newswires* の記事だ。

3月19日の動きについては、開戦が迫っていたこともあり、ドルは全面高になったと指摘、その理由として第2パラグラフに米国主導の戦争は早期に終わり、サダム・フセイン政権を決定的に放逐することになろうとの見通しを上げている。ただその次のパラグラフで、今後数日間のドルの方向性はイラクからの戦況報告に左右されるだろうとの見方も付け加えている。

The dollar stepped higher across the board as investors braced for the beginning of what appeared certain war, leaving traders preparing for an expected surge in foreign exchange market volatility.

The dollar's inroads appeared to stem, once again, from a sense that a U.S.-led war will likely be swift and decisive in ousting Iraqi leader Saddam Hussein.

But while the possibility of a fast war has certainly seemed to be the driving force in currency markets so far this week, the dollar's direction over the next few days will depend on initial reports out of Iraq, analysts argue.

円の動きについても相当長い言及があり、ドルは円に対して大幅に上げたと言った。第10パラグラフでは、

Late yesterday in New York, the dollar wasn't far below global session highs, at 120.48 yen, sharply up from 118.84 yen late Tuesday..

と指摘、その上で第13, 14パラグラフでは円相場の不安定度が強く、また、円は対ドルでユーロやスイスフランの下落に遅れて反応したようだとしている。

While the dollar edged higher across the board, it was particularly volatile against the yen, climbing swiftly above the 120-yen line during the New York afternoon session and hitting its strongest point since Feb. 17.

Part of that strength appeared to be due to the dollar breaching some option barriers that in turn propelled the currency higher. But analysts said the yen was also simply falling in a delayed reaction against the dollar, in line with declines in other key rivals in recent days, in particular the euro and the Swiss franc.

3月20日（米東部標準時間では開戦の翌日で、記事は3月21日付）の動きについては投資家が戦争初期の段階で先行きの不透明感が強いので様子見の姿勢を取ったためほとんど動かなかったとしている。リードと第2パラグラフは

As war with Iraq gathered steam, the dollar was almost an idle bystander, edging moderately lower toward the end of the global day as investors remained unclear as to how the conflict was going in the early stages.

On a day when traders across the financial markets anxiously scanned television screens for clues on progress on the first day of war, analysts said investors with little appetite for risk were simply sitting on their hands.

第4パラグラフではドルは対円で小幅下げたと指摘した。

Late yesterday, the dollar was changing hands at 120.21 yen, down slightly from 120.32 yen at the start of New York trading and from 120.48 yen late Wednesday.

３．外国為替市況記事に見られる特有の語法

３.１ 上げ、下げ、持ち合いの表現（動詞を中心にして）

通貨レートをめぐる読者の最大の関心事は他の通貨に対して上がったかそれとも下がったか、また持ち合いだったのかという点だ。これを表現するには動詞が多用されるが、本稿で取り上げた４紙の記事を分析すると、いくつかの動詞が共通して使われていることが分かった。もちろん各紙独自の表現の方が多かった。表にしてみる。

| 上げる | <i>JT</i> | <i>IHT</i> | <i>FT</i> | <i>WSJ</i> |
|--------|--------------------------------------|-------------|------------------------------|-----------------------------|
| 一般的な上げ | rise above | | rise | |
| | | | climb | climb |
| | | gain | gain | |
| | edge up | | | edge higher |
| | | rally | rally | |
| | power ahead firm | | | |
| | | be stronger | | |
| | | | spike higher make headway | |
| | | | | step higher end stronger |
| 急騰 | leap | | | |
| | | surge | | |
| | | | gain strongly | |
| | | | | sharply up |
| 押し上げる | | | push higher | push up |
| | drive (the dollar) above | | | |
| 反発 | bounce off (the lows) | | bounce higher | |
| | rebound back | | | rebound |
| その他 | chase (the dollar) higher 高値を追う | | | |
| | recoup some of the ground lost | | | |

新聞によっては特有の表現が目立ち、特に *IHT* は *rise* の多用が目立った。

次に下げの表現をみてみよう。

| 下げ | <i>JT</i> | <i>IHT</i> | <i>FT</i> | <i>WSJ</i> |
|--------|--------------------|------------|--------------|----------------------------------|
| 一般的な表現 | | fall | fall | fall |
| | lose | lose | lose | |
| | slip | slip | slip back | |
| | | slide | slide | |
| | shed | | | |
| | | | weaken | |
| | | | ease | |
| | | | retreat | |
| | | | | decline |
| | | | | drop |
| 急落 | nose-dive | | | nose-dive |
| | go into a tailspin | | | go into a tailspin |
| | | | fall sharply | |
| 押し下げる | | | drive lower | |
| | | | | push X lower |
| その他 | | | | gravitate back toward (parity) |

スタンダードな表現は *fall*, *lose*, *slip*, *slide* あたりと言えよう。*IHT* では *fall* の多用が目立った。急落では *nose-dive* がよく使われていた。このほかに *plunge* や *plummet* でも表せよう。

動詞ではないが、もちろん上げでは *up*, 下げでは *down* もしくは *off* が多用されている。今度は「持ち合い」そしてこれに意味が近い「小動き」「膠着状態」がいかに表現されているかみてみよう。

共通だったのは *hold steady* (*JT* と *IHT*) および *remain flat* (*JT* と *FT*) だった。このほかに *JT* では

stay motionless, *stay inactive*, *stay rangebound* など *stay* を使った表現や、*be trapped in a narrow range*、*be little changed* などの表現があった。

WSJ では *the dollar was almost an idle bystander* という気の利いた表現があった。

次に上下ではなく取引水準そのものを示す各紙の表現を集めてみた。

be quoted at (*JT*)

change hands at (*IHT, WSJ*)

(Sterling) fetched (\$1.566) (*WSJ*)

stand at (*JT*)

trade at (*IHT*)

(the dollar was) at X (*WSJ*)

(the dollar was) buying at X (*WSJ*)

ところでドルを示す表現は dollar だけではない。4 紙から集めてみると、the U.S. unit, the U.S. currency, the greenback と表現されている。

もちろん日本円も the Japanese unit とか the Japanese currency と表現できる。

ユーロは euro のほかに the common currency という言い方も散見された。これは仏独を含む12カ国の共通通貨であることに由来する。

このほかにテクニカルタームではないものの、外国為替市況記事で目立つ表現を4つ挙げる。

weigh heavily on (*WSJ, JT*)

圧迫するとの意味で、“ Political situations weighed heavily on the dollar ” (*JT*) のように使われている。

take a breather, pause for a moment (*JT, FT*)

(上昇もしくは下落が) 一息つくの意味。

sit out (the Tokyo session) wait for (European and U.S. trade) take to the sidelines

いずれも「様子見」の意味で、*JT* に頻出した。

price in, factor into (*JT, WSJ*)

「織り込み済み」との意味で、“ Most of the possible adverse impact has been factored into currency trading ” (*JT*) とか “ The market has been pricing the idea that the ride to Baghdad is going to be swift and fast ” (*WSJ*)

これらの最後4つの表現は株式市場や債券市場などほかの市場の記事にも頻出する。

4．外国為替市況記事に見られるテクニカルターム

本稿で取り上げた4紙の外国為替市況記事に表れたテクニカルタームを拾ってみる。先行研究はいくつかあるが、言葉は生き物であり年月とともに変化し、加えて外国為替取引の手法も変わるのでここで改めて取り上げることは意味が

あると思われる。

global session high (JT)

世界の外国為替市場は連動しており、そのうち三大市場は東京、ロンドン、ニューヨークの市場であり、この順番に取引時間が流れていく。3大市場での最高値が global session high (JT) であり、その逆が low for the global session (WSJ) である。

intervention

金融当局が外国為替市場である通貨を人為的に売買することで、その通貨の価値を高めたいときには買い介入、押し下げたいときには売り介入を行う。Yen-bashing intervention (円売り介入、JT) covert intervention (目立たぬように行う介入、FT) intervention speculation (介入があったのではないかと、もしくはあるのではないかという思惑、WSJ)

position

トレーダーが持っているある通貨の量。売りポジションと買いポジションがある。position adjustment (ポジション調整、JT) position squaring (売り買いのポジションを中立にしておくこと、FT)

support

普通、下値支持線と訳すが、買い注文が集中しているなどの理由からそれ以下には下がりにくい水準を言う。head toward an initial line of support (最初の支持線に向かう、JT) breach of technical support (技術的支持線を下回る、WSJ) 逆は上値抵抗線で英語では resistance。

test

試すと訳されるが、上値抵抗線を超えてある通貨が上伸するかどうか大量に買ったり、逆にある通貨が下値支持線を下回るかどうか売り浴びせたりする。test the upside of the euro (ユーロの上値を試してみる、JT)

profit taking、take profits (JT)

利食いと訳される。買ったときに比べてある水準まで通貨が上がった場合、利益を確保するために売ること。

cyclical factors

循環的要因と訳される。周期的に表れる要因のこと。The driver of the foreign exchange market is likely to return to cyclical factors (*FT*)

volatility

不安定さと訳される。foreign exchange market volatility (外国為替市場の不安定さ、*WSJ*) currency volatility is set to rise (通貨の不安定さが増しそうだ、*FT*)

stop-loss orders

ストップ・ロスの注文と訳される。通貨の価値が下がって、損失の拡大を防ぐための売り注文のこと。stop-loss orders were triggered (*WSJ*)

short position

売り持ちと訳す。ある通貨の先物相場で売り注文の方が買い注文より多い場合をいう。Cover dollar short positions (売り持ちをカバーする、*JT*)。逆は買い持ちで、long position と表現する。dollar shorts and euro longs (ドルの売り持ちとユーロの買い持ち、*WSJ*) のように position を省くこともある。

5 . 結論

外国為替市況記事には一定のスタイルがある。リードで主要通貨の動きとその理由及び背景を大まかに述べ、それを第2パラグラフ以降で展開していく。実際のレートが第2パラグラフに入ることもあれば、それ以降に言及される場合もある。この二つさえ入っていればそのほかはレートの動きを誘発したマクロ経済統計や重要会議の結果、戦争・事件の模様を数パラグラフ使って書いてもいいし、エコノミストやアナリストのコメントを直接引用してもいい。大切なのは読者にその日の市場そしてレートの動きがはっきりとイメージできるように書くことだ。本稿で取り上げた4紙の記事は基本的な部分ではこうしたスタイルが取られているという意味では似かよっているものの、細部では随分違う。執筆する記者の市場の動きに関するイメージが異なるし、切り口も違うからだ。さらに外国為替市場は東京、ロンドン、ニューヨークの三大市場が連動しており、24時間切れ目なくつながっているため、どの時点で記事を書くかによってもトーンは変わってくる点に留意しなければならない。

語法、特にレートの上げ下げの動詞表現は予想したほど共通の単語は使われ

ていなかった。それどころか単純な上げ下げなのに、工夫のあとが随所にみられ、さまざまに表現できることが証明された形となった。ただ、記者が英語のネイティブ・スピーカーであるかどうか、また、ネイティブ・スピーカーであっても米国人であるのか英国人であるかによって選好する単語が変わってくる可能性があることに留意する必要があるかもしれない。しかし、この点はさらに調査・検討する必要があるだろう。

テクニカルタームもかなり頻繁に出てきており、これらの意味を正確に把握しなければ記事をきちんと理解できないだろう。また、外国為替市場は直物 (spot) と先物 (forward) に分かれており、この点にも留意する必要がある。

外国為替市況は日々の国際経済・政治の動きを敏感に反映しており、そのダイナミズムを簡潔で明確な英語の記事に仕立て上げることは並大抵の作業ではなく奥が深いことが本稿の執筆によって改めて分かった。(了)

註

- 1) 『外国為替英語の名詞・動詞・数字表現』、長島常光、日本実用英語学会第26回年次大会 (2001年9月22日発表)
- 2) 通常、火曜から土曜までの紙面には東京、ロンドン、ニューヨークの3市場の市況が、日曜の紙面にはロンドンとニューヨークの市況が掲載される。もちろん時差の存在が背景にある。
- 3) 日本円は英文部分ではオリジナルに従ったため、¥となっている記事もあれば、yen と表記されている場合もある。米ドルも同様に \$ もしくは dollar となっている。
- 4) レンジ (range) とはある通貨が他の通貨に対して一定期間中に動いた範囲のことを指す。
- 5) *IHT* 掲載の *Bloomberg* 通信の記事はやや読みづらい。ドルと他通貨とのレートなのだが、他通貨が主語になったり、ドルが主語になったり統一が取れていないからだ。
- 6) *FT* と *IHT* および *JT* は締め切時間が違うので当然、盛り込める内容も異ってくる。*JT* および朝日新聞の英字版が挟んである *IHT* は真夜中過ぎには締め切りが来るが、日本で発行されている *FT* はそれよりずっと遅く、日本時間午前6時ごろが締め切りとなっているので、ロンドン市場の様子がフルに入る。
- 7) 米東部標準時間3月20日

参考文献

- Inside the FT*, Edited by William Dawkins and Colin Inman, Financial Times, 1998
Stylebook 2001, Editor Norm Goldstein, Associated Press, 2001
Stylebook, Editor Bobby Ray Miller, United Press International, 1977
Dictionary of Banking and Finance, Louis E. Davids, Littlefield, Adams & Co., 1978
『英文経済記事を読む辞典』、寺澤浩二編、ジャパン タイムズ、1982
『英和英経済用語辞典』、長谷川啓之編、富士書房、1982
『外国為替の知識』、国際通貨研究所編、日本経済新聞社、2001